

ミッション：生徒の基礎学力の向上を図り、各教科学科の専門性を高める指導を行い、モノづくり、資格取得、部活動を通して進路実現を図る。行動力と地域ネットワークを活かし、グローバルに多彩な取り組みを通し高い志、使命感、覚悟を持ち、明るい未来を切り拓き、地域、社会・産業を潤す源流となる人財を育てる。

心がけ：教職員一人一人が、対話を通して課題の共有に心がけ、明るく・元気に・前向きに、教育のプロとしての自覚を持ち、生徒と保護者に寄り添います。教科指導力、専門性を向上させ、一人一人の経験と力量を集積し、普通教科、学科の専門性を活かし、生徒、保護者や地域社会に貢献し信頼される学校経営を全職員で行います。前例や慣例にとらわれず、新たな視点で本校のポテンシャルを活かし、地域産業界を見据え、連携を深めながら教育の充実に努め、人財育成を図ります。

本年度の重点目標：①基礎学力の向上と定着 ②資格取得、モノづくり、部活動のポテンシャルを活かしたバランスのとれた学校経営  
③保護者・地域・産業界と連携し地域の課題と向き合い、未来を切り拓く取り組みの生徒からの発信  
④急速に変化する社会と産業界を見据えたグローバル教育

重点目標	評価項目	具体的方策・指標	自己評価		学校関係者評価
			成果○及び改善策◇	評価・具体的意見	
基礎学力の向上と定着	指導方法の工夫・改善	・模擬試験を充実させ全員の進路実現 ・定期的な授業公開と授業力の改善	3	○全員の進路実現を目指して努力した。 ◇授業公開は実施後の検討会の開催が必要	3
	個別指導の徹底	・学力強化期間の個別指導の徹底 ・休業・連休の友で基礎学力を定着 ・一人一人の課題解決に努力する。	3	○個別指導はしっかりしていた。 ○休業・連休の友の活用はできていた。 ◇個々の課題解決に努力する。	
資格取得、モノづくり、部活動のポテンシャルを活かしバランスのとれた学校経営	資格取得を奨励・体験活動	・ジュニアマイスター全国3位を目指す ・社会活動を通じた人財育成の推進	4	○資格取得は昨年度とほぼ同程度。 ○難関資格の取得が増加した。	4
	モノづくり・部活動の充実	・部活動団体での全国大会出場 ・専門部の活動を充実させる。	3	○専門教育・課題研究は充実していた。 ○各行事では生徒会役員が中心となって活発に活動した。 ◇団体の全国大会出場は1種目(ソフトテニス)	
	食育の推進	・くらしと家庭、心と絆の食育の推進(フードアクションの展開) ・「弁当の日」の推進	4	○「ひろがれお弁当の輪」プロジェクトを地域と連携して取り組んだ。 ○小学校、特別支援学校との連携も行った。	
保護者・地域・産業界と連携し地域の課題と向き合い未来を切り拓く取り組みを生徒から発信	保護者との連携・地域の課題	・地域次世代ネットワークの構築 ・保護者の様々な声を聴き行動する ・ツイッター・ブログで情報の共有化	3	○HPによる情報発信は良好であった。 ◇各行事での保護者参加の呼びかけが今ひとつ足りなかった。	4
	地域・産業界との連携	・地域産業界と連携した人材育成 ・県工業会・向洋会との連携を強化 ・企業説明会などの連携事業を深める ・地域産業の源流となる人財育成	4	○地域企業・向洋会との連携は良好で、各種事業が展開できた。(シンポジウムへの参加、多自然川づくり、食育、教えて先輩など) ○企業説明会は本校で5回目の実施となった。2年生対象に良好であった。	
急速に変化する社会と産業界を見据えたグローバル教育	教育課程の見直しと研究	・本校ポテンシャルを活かした特色化 ・地域や産業界と共にグローバル人財を育てる視点、時代の潮流を見据えた取組の具体化 ・学校行事とキャリア教育、安心安全防災教育を織り込んだ選択と集中	3	○各学科・教科とも来年度の教育課程実施に向けて検討した。 ○防災訓練を3回実施し、内1回は地域住民と連携した訓練を行った。 ◇産業界を視野に入れた検討が不十分。	4

4段階評価 4：期待以上、3：ほぼ期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善を要する